



2022年3月期 第1四半期 決算概要

2021年8月4日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹



CAFOの武藤でございます。
2022年3月期 第1四半期決算の概要について説明いたします。

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ Q1実績

- 売上収益：四半期として過去最高。心臓血管を中心に需要が着実に回復。ドル・ユーロともに為替影響はプラス方向
- 調整後営業利益：四半期として過去最高。想定していたマイナス影響を予定通り受けるも、心臓血管を中心とした売上回復により製品ミックスが大きく改善。費用は新型コロナの影響が残り、緩やかな立ち上がり

■ 21年度業績予想の上方修正

- 前回予想レンジ上限に対して売上収益+50億円、調整後営業利益+70億円の上方修正
- Q1の上振れを反映した修正。新型コロナ変異種の拡大による需要回復の遅れ、ロックダウンによる供給リスク等の懸念が残るものの、症例数を始めとした医療需要の継続した回復を見込む

まず初めに本決算のハイライトです。

売上収益は、四半期としては過去最高となりました。特に新型コロナの影響が大きかった心臓血管カンパニーの需要回復が、顕著に現れました。加えて為替は対ドル・ユーロともにプラスに働きました。

調整後営業利益、営業利益も、四半期として過去最高です。売上の回復とともに、製品ミックスが改善したことが押し上げました。生産調整や中国における国家入札の影響を受けたものの、販管費用は新型コロナの影響により緩やかな立ち上がりでした。

このQ1の業績を鑑み、本年度通期の業績予想を上方修正いたします。

P&L実績

- 売上収益：四半期として過去最高。心臓血管、特にTISを中心に需要が着実に回復。ドル・ユーロともに為替影響はプラス方向
- 調整後営業利益：四半期として過去最高。生産調整、中国入札のマイナス影響は予定通り。主に心臓血管の売上回復により製品ミックスが大きく改善。費用は新型コロナの影響が残り、緩やかな立ち上がり

金額 (億円)	FY20 Q1	FY21 Q1	増減率	為替除く増減率	FY19 Q1	増減率 対 FY19 Q1
売上収益	1,313	1,717	31%	25%	1,525	13%
売上総利益	689	943	37%	30%	852	11%
(売上総利益率%)	(52.5%)	(54.9%)			(55.8%)	
一般管理費	401	465	16%	12%	445	4%
(一般管理費率%)	(30.5%)	(27.1%)			(29.2%)	
研究開発費	112	117	4%	3%	118	-2%
(研究開発費率%)	(8.5%)	(6.8%)			(7.8%)	
その他収益費用	5	1	-	-	4	-
営業利益	181	362	100%	85%	292	24%
(営業利益率%)	(13.8%)	(21.1%)			(19.1%)	
調整後営業利益	217	402	85%	73%	339	18%
(調整後営業利益率%)	(16.5%)	(23.4%)			(22.3%)	
税引前利益	179	360	101%		288	25%
(税引前利益率%)	(13.6%)	(21.0%)			(18.9%)	
当期利益	140	279	99%		228	22%
(当期利益率%)	(10.7%)	(16.2%)			(14.9%)	
期中平均レート(USD/EUR)	108円/119円	110円/132円			110円/123円	

©TERUMO CORPORATION

4 / 23



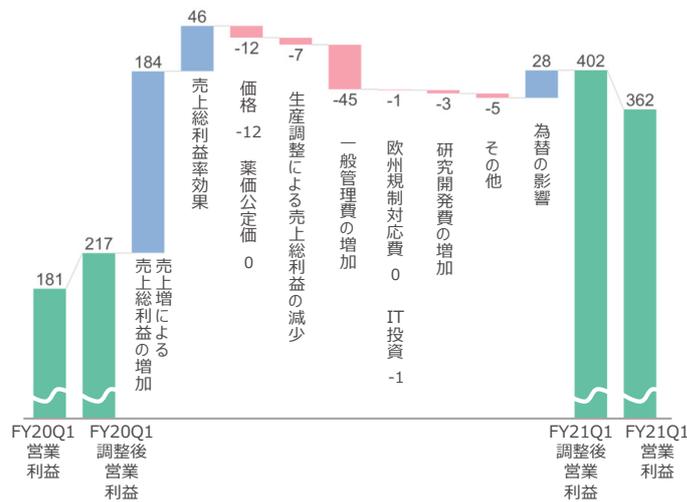
Q1の収支実績です。

売上収益は1,700億円を超え、対前年同期比で31%増加。調整後営業利益は400億円となり、営業利益、当期利益はコロナの影響で底であった前年同期比で約倍増となりました。

販売促進活動や研究開発は、未だに新型コロナの影響を受けており、売上収益と比べて、費用面の回復は緩やかですが、Q2以降には回復してくると見込んでいます。

調整後営業利益増減分析（Q1）

（億円）



- 売上増による売上総利益の増加：
新型コロナの影響を受けた20年度Q1と比較すると全カンパニーで売上が伸長
- 売上総利益率効果：
在庫水準適正化に向けて予定通り実施した生産調整のマイナス影響があったものの、心臓血管、主にTISの売上増によるミックス改善効果が大きい
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
新型コロナの影響で費用進捗の遅れた20年度Q1との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主にユーロ、中国元がフローに影響。ストックへの影響は軽微

©TERUMO CORPORATION

5 / 23

TERUMO

調整後営業利益の増減分析です。前年度同期との比較です。

売上増による売上総利益の増加は184億円となりました。この点は、後程カンパニー別売上収益でも改めてご説明いたします。

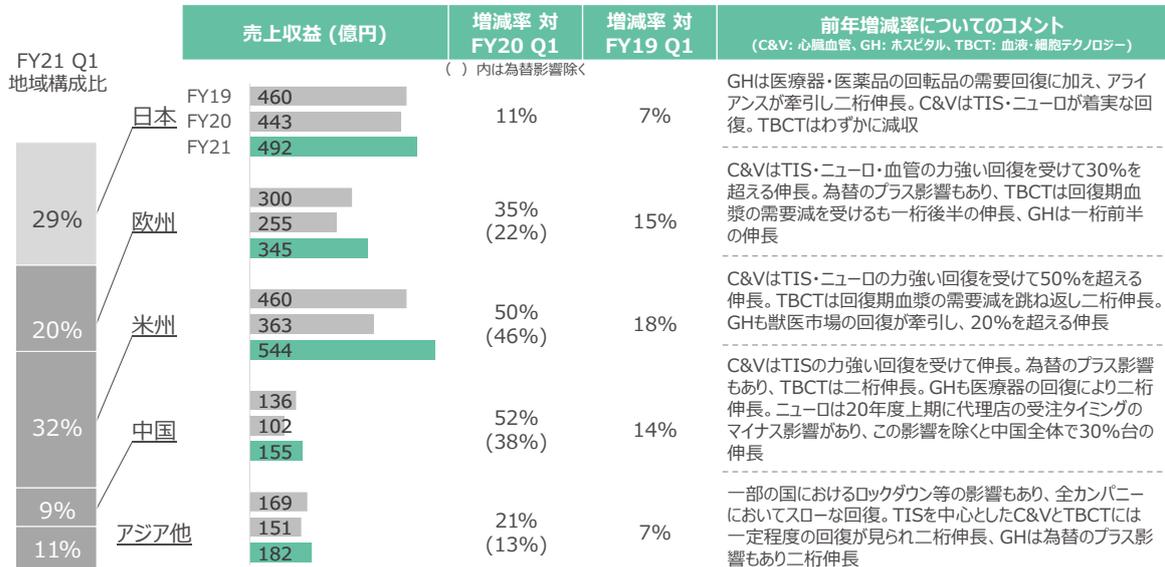
中国国家入札（VBP）など価格下落と、生産調整による粗利益の減少は、想定通りでしたが、売上増加がそれらを吸収しました。

一般管理費は、新型コロナの影響を受けた昨年との比較のため、増加していますが、Q1としては緩やかな立ち上がりでした。

欧州規制対応費や、原料血漿採取事業スタート準備を含むその他費用も、新型コロナの影響が残り、緩やかな立ち上がりでした。

為替の影響は28億円のプラスでした。

地域別売上収益



©TERUMO CORPORATION

6 / 23

TERUMO

地域別売上収益です。

欧州、米州、中国は、特に心臓血管カンパニーが、新型コロナの症例数減から回復し、さらにコロナ禍前の19年度と比べても二桁の伸びとなりました。一方で、アジア、中南米は業績の回復がスローです。

日本は、心臓血管カンパニーのほか、ホスピタルカンパニーが好調で、前年比で11%、19年度比でも7%の伸長でした。ホスピタルでは、医療需要の回復により、医療器の輸液ラインを中心にディスプレイ製品と医薬品の業績が復調する中、ポンプやDMヘルスケア、アライアンスが順調に伸びて、全事業が好調でした。

欧州は、総じて新型コロナからの回復が見られ、心臓血管カンパニーの中でもニューロが大きく伸長するなど、業績も成長軌道へと回帰しつつあります。

米州は、成長軌道への回帰が顕著で、心臓血管カンパニーのTIS、CV、ニューロ、血管いずれの事業も大きく伸びました。ホスピタルでは医療器、血液・細胞テクノロジーでは血液センター向け・病院向けともに成分採血の製品が伸長しました。

中国は、国家入札導入の背景にある医療需要の増加が、新型コロナを脱していよいよ顕在化し、心臓血管カンパニーが大きく伸長しました。国家入札の対象は冠動脈形成術

(PCI) の治療デバイスのみでしたが、全体の需要増に備えて代理店がアクセス製品の買い揃えも図るなど、治療関連製品以外も伸びました。但し、これは一時的な需要増と見ています。実態として症例数がどれくらい増えているか、今後も注視していきます。

アジア他は、韓国、シンガポール、オーストラリアは欧米並みの回復となりましたが、マレーシア、インドネシア、ベトナムなどでは新型コロナ感染の拡大が続いており、他地域に比べて、依然回復が遅れています。それでも、19年度のQ1と比べてプラスの伸長となりました。

心臓血管： 北米、欧州を中心に症例数が顕著に回復し、全事業で売上が大きく伸長。
 コロナ前の19年度Q1との比較でも売上・利益ともに二桁伸長

		Q1			コメント	Q1 売上増減
		()内は為替影響除く				
		FY19	FY20	FY21		
売上収益		885	673	996	TIS : アジアや中南米、日本においてはコロナ影響が残るも、北米と欧州は顕著に回復。コロナ前の19年度Q1との比較でも、日本における公定価改定、中国におけるPCI製品入札による価格下落を跳ね返し、二桁伸長	+204
				+48% (+40%)	ニューロ : 北米と欧州で脳動脈瘤治療の顕著な回復。新製品や血栓吸引カテーテルの好調もあり、コロナ前の19年度Q1との比較でも二桁後半の伸長	+65
調整後 営業利益		245	124	294	CV : 北米における顕著な症例回復に加え、病院の投資再開により装置売上も好調。日本においてはECMO等の装置売上が引き続き牽引。コロナ前の19年度Q1との比較でも二桁に迫る伸長	+28
				+137% (+112%)	血管 : 欧州と北米を中心に顕著な症例回復。新製品効果もあり、コロナ前の19年度Q1との比較でも30%伸長	+26
調整後 営業利益率		28%	18%	29%	利益 : 中国入札や、在庫水準適正化に向けた生産調整によるマイナス影響を、製品ミックスの改善効果で跳ね返し、19年度Q1との比較でも二桁伸長。販管費はコロナ影響が残り、緩やかな立ち上がり	

©TERUMO CORPORATION

7 / 23



カンパニー別に、まずは心臓血管カンパニーです。

売上収益は、TISが、北米や欧州を中心に症例数回復の恩恵を享受し、中国の国家入札の影響などを跳ね返して、売上・利益ともに19年度のQ1と比較しても二桁伸長となりました。

ニューロも、北米・欧州での脳動脈治療の症例数が回復、そこに新製品効果や血栓吸引カテーテルの好調も相まって、19年度のQ1と比べても、二桁後半の成長を遂げました。

CVも、外科手術症例数の回復に加え、装置需要も堅調で、19年度のQ1と比べても10%を超える伸びとなりました。

血管はさらに、症例数の回復と新製品効果により、30%を超える伸長となりました。ステントグラフトが、欧州、北米、日本で好調でした。

利益について、売上収益の大幅な伸長に対し、費用は緩やかな立ち上がりとなり、その結果29%の調整後営業利益率となりました。

ホスピタル: グローバルで医療器の回転品が牽引。
19年度Q1または20年度Q1、どちらと比較しても売上・利益ともに二桁伸長

(億円)

	Q1			コメント	Q1 売上増減
売上収益	()内は為替影響除く			医療器 : 日本、北米、アジアを中心とした医療需要の回復に伴い、回転品が牽引して二桁伸長。感染対策製品は需要が一巡。コロナ前の19年度Q1との比較では、アジアは回復が遅く、わずかにマイナス伸長も、グローバルでは一桁後半の伸長 医薬品 : 輸液剤は需要の回復が鈍く、コロナ前の水準には戻っていないものの、一桁台半ばの伸長。疼痛緩和製品と癒着防止材は二桁伸長と好調を継続。19年度Q1との比較では、一桁前半の伸長	+26
	398	392	438		
調整後 営業利益	52	52	64	DM・ヘルスケア : DMは20年度Q3以降プラス伸長を継続。ヘルスケアにおける特需は、体温計が20年度Q3をピークに一巡も、血压計は伸長を継続 アライアンス : CDMOビジネスが牽引し、二桁成長を継続	+7
				+25% (+24%)	+4
調整後 営業利益率	13%	13%	15%	利益 : 販管費はコロナ影響が残り、緩やかな立ち上がり	+8

©TERUMO CORPORATION

8 / 23



ホスピタルカンパニーです。

売上収益は、その7割を占める日本において、医療器のシリンジポンプや輸液ポンプの需要が高く、輸液ラインなどのディスプレイ製品が売上を伸ばしました。

医薬品では輸液剤の回復は遅いものの、疼痛緩和や癒着防止剤が、手術件数の回復に伴い、再び強い伸びを示しています。

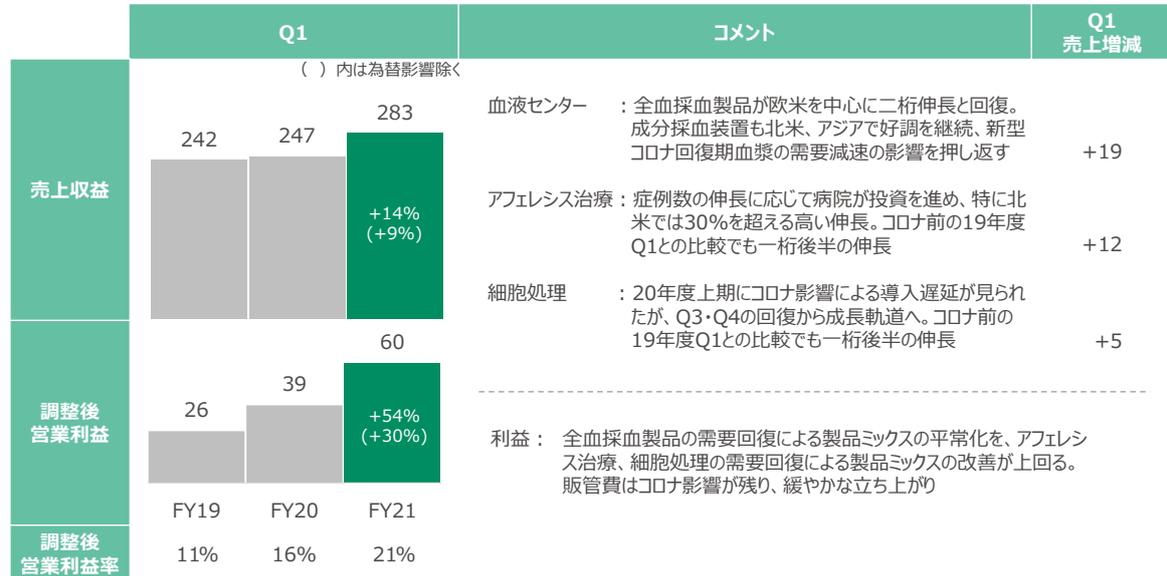
DMは国内の自己血糖測定用チップが伸び、ヘルスケアでは、血压計が、医療体制の整備が続く中、需要が増しました。

アライアンスは、計画通りの推移で、順調に安定的な高成長を維持しています。

利益においては、医療器の製品ミックス改善と、アライアンスの成長などが粗利益増に寄与しました。売上成長の一方で、費用は低めに推移しました。

血液・細胞テクノロジー: 回復期血漿の需要減速の影響を他の製品群で跳ね返す。製品ミックス改善、費用コントロールにより増収増益を継続

(億円)



©TERUMO CORPORATION

9 / 23

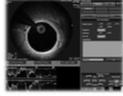


血液・細胞テクノロジーカンパニーです。

売上収益は、回復期血漿の需要が減速したものの、特に北米のTrimaなど血液センター向けの製品や、Optiaなどアフレス血液治療システムが症例数増加に応じた病院の投資が進んだことで売上を大きく伸ばし、二桁成長を維持しました。これに加えて中国、APACの伸びも全体を牽引しました。

調整後営業利益は、売上成長による粗利益の伸長が寄与する一方、やはりプロモーションや開発の費用が緩やかに推移し、Q1は20%を超えました。

主なトピックス

全社	<ul style="list-style-type: none">ESG投資指数「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」構成銘柄に初選定新型コロナウイルス感染症対策に100万米国ドルの追加寄付	 OFDIシステムを用いた血管内診断 (イメージ)
心臓血管	<ul style="list-style-type: none">OFDI血管内画像診断システムが日本初の下肢動脈への適応追加承認を取得米国において末梢血管塞栓用プラグ「AZUR Vascular Plug」を発売	 末梢血管塞栓用プラグ 「AZUR Vascular Plug」
ホスピタル	<ul style="list-style-type: none">日本初となるプレフィルドタイプのフルマゼニル注射液を発売持続血糖測定器「Dexcom G6 CGMシステム」を発売	 持続血糖測定器 「Dexcom G6 CGMシステム」
血液・細胞 テクノロジー	<ul style="list-style-type: none">細胞・遺伝子治療の製造コスト低減を目指すプロセス分析技術コンソーシアムに参画	

©TERUMO CORPORATION

10 / 23

TERUMO

主なトピックスです。

まず、ESG投資指数であるFTSEの2つの構成銘柄に初めて選定されたことは、非常に良いニュースとなりました。

製品では、つい先日ですが、CGM（連続自己血糖測定システム）のDexcom G6が無事承認を取得しましたことをご報告します。

業績予想の上方修正

	(億円)		
	従来 予想	今回 修正予想	修正額 (対 上限値)
売上収益	6,700~6,800	6,850	+50
営業利益 (率)	1,070~1,130 (16.0~16.6%)	1,200 (17.5%)	+70
調整後営業利益 (率)	1,240~1,300 (18.5~19.1%)	1,370 (20.0%)	+70
当期利益	820~865	920	+55
為替レート(USD/EUR)	107円/128円	108円/129円	

■ Q1の上振れを反映した修正

■ 新型コロナ変異種の拡大による需要回復の遅れ、ロックダウンによる供給リスク等の懸念が残るものの、症例数を始めとした医療需要の継続した回復を見込む

©TERUMO CORPORATION

11 / 23



さて、21年度の業績予想につきまして、期初には、上期は新型コロナ感染の影響が残る想定での「下限」と、ワクチン接種による、より早い回復を想定した「上限」の、レンジで提示していました。

今回、このQ1の業績と市場環境の変化を受け、売上収益においては上限にさらに50億円を上乗せする修正をいたします。これは為替影響、そして心臓血管カンパニーにおける欧州北米の回復スピードの速さ、中国代理店の在庫確保が主な内容です。

この売上収益の修正に基づき、営業利益は1,200億円、調整後営業利益は1,370億円へ、それぞれ期初予想の上限から70億円の上方修正をいたします。

これはQ1での為替影響、売上増による粗利増加、加えてスローなペースで推移した費用分となります。なお、今後の費用に関しては、Q1のような低いレベルから徐々に売上収益に対して通常レベルで推移していくと考えています。

カンパニー別業績予想

	売上収益		調整後営業利益			コメント
	金額 (億円)	前年増減率 ()内は為替影響除く	金額 (億円)	売上比率	前年増減率 ()内は為替影響除く	
心臓血管	FY19	3,506	869	25%		TISの中国入札影響があるものの、米国を始めとする売上回復によりTIS、血管は二桁増収、ニューロは20%に迫る増収
	FY20	3,285	744	23%		
	FY21	3,855	17% (15%)	960	25%	
ホスピタル		1,710	252	15%		21年度はアライアンスやDM、疼痛緩和が牽引。ヘルスケア製品の特需は一巡も、医療器と医薬品において回転品の回復を見込む
		1,755	257	15%		
		1,825	4% (3%)	250	14%	
血液・細胞テクノロジー		1,072	151	14%		回復期血漿の需要減を、輸血需要の回復やアフェシス治療・細胞処理の拡大で吸収して増収
		1,095	191	17%		
		1,170	7% (5%)	215	18%	

©TERUMO CORPORATION

12 / 23

TERUMO

カンパニー別にブレイクダウンいたします。

心臓血管については、PCI製品に向けた中国入札による価格下落の影響があるものの、米国を始めとする需要回復の下、TIS、ニューロ、血管が二桁増収、その中でもニューロは20%に迫る伸長を期待しており、全体として17%の増収を見込みます。

ホスピタルは、アライアンスやDMに加えて、疼痛緩和が売上収益の成長を牽引します。一方で、医療器や医薬品などの回転品の売上が回復してくることに加えて、アライアンスの先行投資の負担もあり、総体的に利益は維持のレベルです。

血液・細胞テクノロジーは、輸血全般の需要回復と、アフェシス治療の堅調な伸びにより、売上収益は微増、営業利益は強かった昨年度と同じレベルを見込んでいます。

以上が決算の概要でございます。ご清聴ありがとうございました。

参考資料

21年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	次期薬剤溶出型ステント	日	
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧	
	末梢血管塞栓用コイル	日	
	末梢血管塞栓用プラグ	米	済み
脳	血流改変ステント	欧米	
	バルーン付きガイドカテーテル	欧米	
	コイルアシストステント	欧米	
血管	胸部ステントグラフト	米	
	オープンステントグラフト	米	
	腹部ステントグラフト	日	

領域	製品	地域	ローンチ
医療器	次期輸液ポンプ	日	
	次期小型シリンジポンプ	日	
	FNシリンジ（16mm針）	日	済み
医薬品	フルマゼニル静注	日	済み
	次期無菌接合装置	日	済み
	ジェルクレア	日	
DM・ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日	済み
	パッチ式インスリンポンプ	欧	済み
	100周年記念体温計	日	
	非接触データ通信体温計	日	
血液・細胞テクノロジー	血液自動製剤システム	グローバル	
	付加価値サービス	グローバル	済み

売上明細 (地域別・事業別)

2021年度 第1四半期 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for the First Quarter of FY2021

(百万円/millions of yen)

	Q1 YTD FY2020							Q1 YTD FY2021							増減率 % to 2020 *									
	日本 JPN	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others %	合計 WW	日本 JPN	%ToF	海外 Overseas	%ToF	欧州 Europe	%ToF	米州 Americas		%ToF	中国 China	%ToF	アジア他 Asia and others %	%ToF	合計 WW	%ToF		
心臓血管 カンパニー	TIS	TIS	6,908	39,633	10,721	16,447	7,347	3,076	46,542	7,862	13.8%	59,069	49.0%	16,166	39.8%	26,176	39.0%	10,040	34.3%	6,636	31.7%	66,932	43.8%	39.0%
	ニューロバスキュラー	Neurovascular	905	6,539	2,844	2,753	-	940	7,445	1,371	11.4%	12,532	31.6%	4,228	48.6%	5,518	100.0%	1,845	-	939	-0.1%	13,904	66.8%	8.1%
	カーディオバスキュラー	Cardiovascular	2,525	6,621	1,079	4,137	376	1,000	9,147	2,749	8.8%	9,239	39.3%	1,436	34.8%	6,017	44.7%	526	39.9%	1,239	23.0%	11,989	31.2%	7.0%
	血管	Vascular Craft	571	3,609	2,063	1,637	279	228	4,180	714	21.0%	6,027	67.0%	3,297	39.8%	1,975	30.4%	401	43.6%	353	34.8%	6,742	61.3%	3.9%
	Cardiac and Vascular Company		10,911	56,403	16,710	24,425	8,015	7,262	67,315	12,699	16.4%	86,869	54.6%	25,148	39.3%	39,687	62.6%	12,814	39.9%	9,219	26.9%	99,568	47.9%	38.0%
ホスピタル カンパニー	医療器	General Hospital Products	10,848	5,347	692	1,346	224	1,092	16,196	12,171	22.2%	6,646	24.3%	733	8.8%	2,149	39.6%	352	64.0%	3,300	8.6%	18,818	16.2%	11.0%
	医薬品	Pharmaceutical	10,609	-	-	-	-	-	10,609	11,325	6.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,325	6.7%	6.6%	
	DM・ヘルスケア	DM and Consumer Healthcare	5,466	646	193	0	189	273	6,113	5,722	4.7%	829	28.3%	200	4.2%	8	78.99%	229	27.4%	390	42.9%	6,551	7.2%	3.8%
	ホスピタルシステム小計	Hospital System Sub Total	26,923	5,994	885	1,346	394	1,366	32,919	29,219	8.3%	7,475	24.7%	934	7.8%	2,157	69.2%	581	47.3%	3,781	12.3%	36,695	11.3%	21.4%
	アライアンス	Alliance	3,896	2,368	1,433	738	36	110	6,264	4,776	23.6%	2,310	-2.4%	1,464	0.6%	580	-33.4%	20	-43.9%	245	107.3%	7,687	11.3%	4.1%
	General Hospital Company		30,821	8,362	2,341	2,105	430	3,484	39,183	33,996	19.3%	9,786	17.0%	2,419	3.8%	2,738	39.1%	602	39.7%	4,027	11.6%	43,783	11.7%	23.2%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	Blood Center Solutions	2,401	16,261	3,122	6,038	1,533	1,566	18,662	2,300	-4.2%	18,252	12.2%	5,337	4.2%	7,022	16.8%	1,732	12.9%	4,161	16.7%	20,552	19.2%	12.0%
	アフェクション治療機	Therapeutic Solutions	90	4,346	1,037	2,472	132	694	4,437	77	-12.2%	5,551	27.7%	1,408	33.2%	3,169	28.2%	264	73.3%	709	6.8%	5,628	28.8%	3.3%
	細胞処理	Cell Therapy Technologies	43	1,590	232	1,226	19	81	1,633	39	-10.3%	2,080	39.8%	187	-19.2%	1,779	41.6%	60	206.4%	32	-31.3%	2,119	29.8%	1.2%
	Blood and Cell Technologies Company		2,535	22,197	4,412	9,747	1,706	4,311	24,733	2,416	-4.7%	25,884	16.6%	6,933	8.1%	11,971	22.6%	2,057	20.6%	4,923	14.2%	28,301	14.4%	16.2%
その他	Others		65	-	-	-	-	-	65	64	-1.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64	-1.6%	0.0%	
合計	Total		44,334	86,963	25,464	36,288	10,152	15,058	131,298	49,175	10.9%	122,541	49.9%	34,501	31.3%	54,397	49.8%	15,473	32.4%	18,169	29.7%	171,716	39.8%	100.0%
売上比率	% to Total		33.8%	66.2%	19.4%	27.6%	7.7%	11.5%	100.0%	28.6%	71.4%	20.1%	31.7%	8.0%	16.6%	100.0%								

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD)=¥107.63

(EUR)=¥116.59

(USD)=¥109.52

(EUR)=¥131.94

* 「中国」の売上を明示したものに限り、「アジア他」から「中国」の売上を除いています。

** 構成比は、小数点第2位を四捨五入して表示しており、合計が100%にならない場合があります。

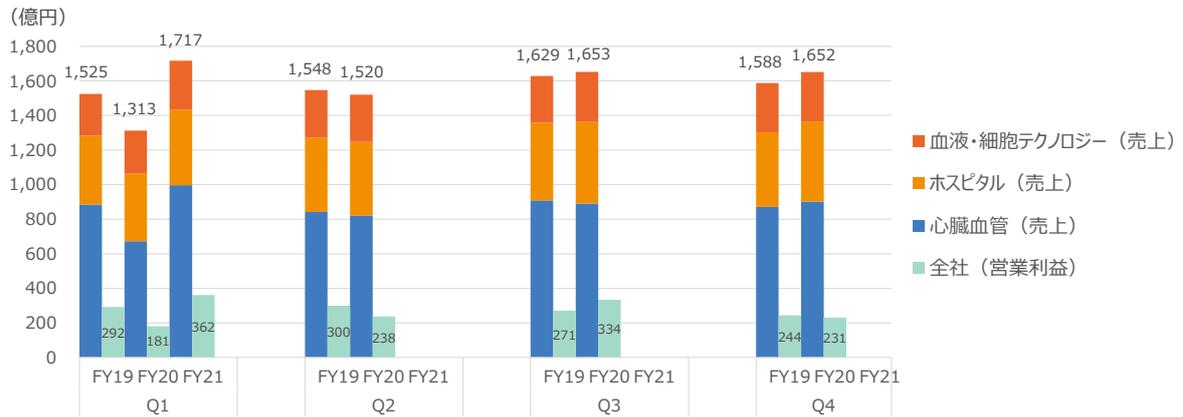
* Sales in China is not included in "Asia and others" from this report's segments.

** The composition ratio is rounded at the second decimal point, and the total may not be 100%.

売上収益・営業利益の四半期推移

■ 売上収益： Q1実績は20年度比31%伸長、19年度比13%伸長。19年度比では心臓血管の売上伸長が13%と大きく、為替（ユーロ等）もプラスの影響

■ 営業利益： 心臓血管の売上伸長により製品ミックスが改善。20年度Q3を上回り四半期として過去最高



四半期の動き

(億円)

	FY20 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	
売上収益	1,313	1,520	1,653	1,652	1,717	
売上総利益	689 (52.5%)	816 (53.7%)	908 (54.9%)	854 (51.7%)	943 (54.9%)	
一般管理費	401 (30.5%)	458 (30.2%)	447 (27.1%)	488 (29.5%)	465 (27.1%)	
研究開発費	112 (8.5%)	119 (7.8%)	128 (7.7%)	132 (8.0%)	117 (6.8%)	
その他収益費用	5	-1	2	-2	1	
営業利益	181 (13.8%)	238 (15.6%)	334 (20.2%)	231 (14.0%)	362 (21.1%)	
調整後営業利益	217 (16.5%)	296 (19.5%)	372 (22.5%)	274 (16.6%)	402 (23.4%)	
四半期	USD	108円	106円	105円	106円	110円
平均レート	EUR	119円	124円	125円	128円	132円

©TERUMO CORPORATION

17 / 23



四半期の動き（販管費）

		(億円)				
		FY20 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)
人件費		224	232	231	240	249
販促費		20	31	35	43	30
物流費		33	36	38	37	38
償却費		46	49	47	49	48
その他		78	110	97	119	99
一般管理費計		401	458	447	488	465
(一般管理費率%)		(30.5%)	(30.2%)	(27.1%)	(29.5%)	(27.1%)
研究開発費		112	119	128	132	117
(研究開発費率%)		(8.5%)	(7.8%)	(7.7%)	(8.0%)	(6.8%)
販管費合計		513	578	575	620	581
(販管費率%)		(39.0%)	(38.0%)	(34.8%)	(37.5%)	(33.9%)
四半期	USD	108円	106円	105円	106円	110円
平均レート	EUR	119円	124円	125円	128円	132円

販管費

(億円)

	FY20 Q1	FY21 Q1	増減	増減率	為替除く 増減率	FY19 Q1	増減率 対 FY19 Q1
人件費	224	249	25	11%	7%	219	14%
販促費	20	30	10	49%	44%	49	-38%
物流費	33	38	5	16%	12%	35	11%
償却費	46	48	2	4%	-1%	45	5%
その他	78	99	22	28%	24%	97	2%
一般管理費計	401	465	64	16%	12%	445	4%
(一般管理費率%)	(30.5%)	(27.1%)				(29.2%)	
研究開発費	112	117	5	4%	3%	118	-2%
(研究開発費率%)	(8.5%)	(6.8%)				(7.8%)	
販管費合計	513	581	69	13%	10%	564	3%
(販管費率%)	(39.0%)	(33.9%)				(37.0%)	

調整後営業利益：調整額

	(億円)	
	FY20 Q1	FY21 Q1
営業利益	181	362
調整① 買収無形資産の償却費	35	39
調整② 一時的な損益	1	1
調整後営業利益	217	402

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY21 Q1
事業再編費用	1

設備投資、償却費、研究開発費

	FY18	FY19	FY20	FY21 Q1	(億円) FY21予想
設備投資	608	895	772	167	850
償却費	440	477	484	126	530
買収無形償却費	146	157	150	38	155
それ以外	294	320	334	88	375

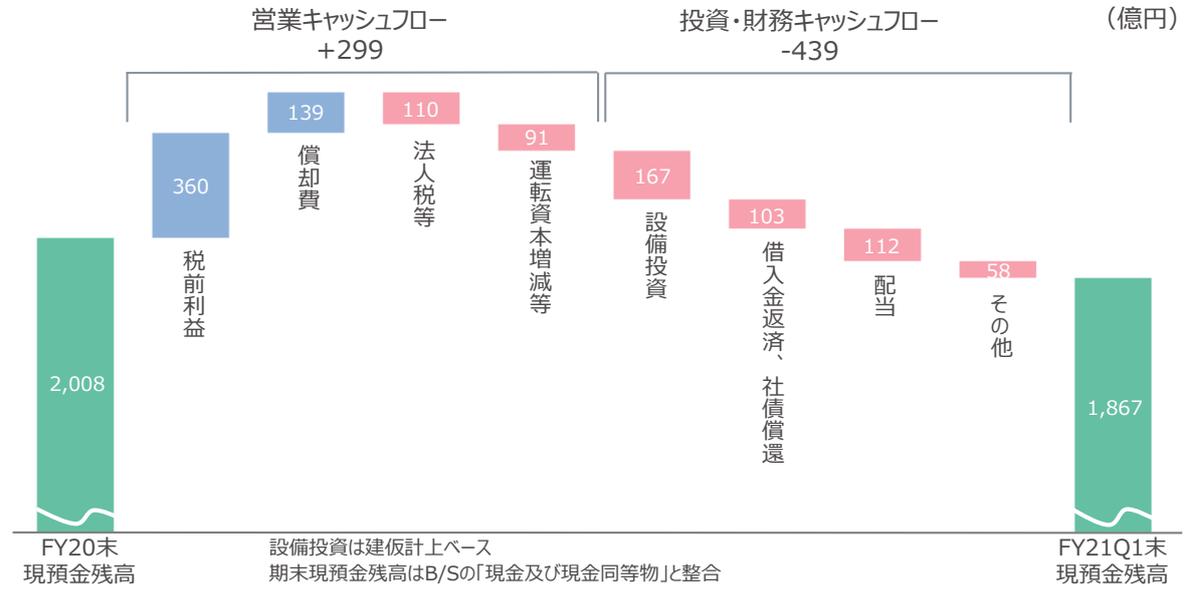
設備投資は建設仮勘定計上ベース、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

■ 21年度Q1実績（167億円）：主にTIS、ニューロ、アライアンス、血液・細胞テクノロジー等の増産設備、生産スペース、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

■ 21年度予想（850億円）：上記の他、原料血漿採取関連、ワクチン用シリンジ設備等、21年度業績も踏まえながら適切に実行中

	FY18	FY19	FY20	FY21 Q1	FY21予想
研究開発費	477	506	491	117	529

キャッシュフロー（Q1）



為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額 (億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	17	8	35
調整後営業利益	0	5	15

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	中国元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	23	36



Stride Ahead
100th